

市民がつくる  
市民が学ぶ  
市民が拓く  
生涯学習情報誌

# Stage

月刊ステージ・アップ

---

# up

'96

10

月号【1日発行】

豊かな時代の人間の苦悩とは？古典音楽の二大巨匠の実像は？  
偉大な足跡を残した野口英世らが海外から見た祖国は？  
市民アカデミー―秋季公開講座の聴講生募集



いまを話す

自宅で漫画ハウスを開いた元中学教師  
山口栄彦さん  
「中教審も認めた？」学校は死に体  
「教師は子の心つかむ勉強を」

■ほんねインタビュー いまを話す

自宅で漫画ハウスを開いた元中学校教師

山口栄彦さん

中教審も認めた？「学校は死に体」  
「教師は子の心つかむ勉強を」

◎はりきつてます グループ紹介

お偉いさんゼロで刺激的楽しさを

川崎市民の寺子屋

ゆったりと太極拳に励む

木月拳美会

●学習・文化情報／会員募集

◆パソコン講座の受講者募集

◇ミニニュース／編集後記

◎表紙絵……多摩丘陵黒川の秋

清水幹子さん

(小誌は再生紙を使用しています)

芸術のまちづくりイベント'96

## しんゆり映画祭

10/24～27

チケット発売中

●一般映画部門 会場：新百合21ホール テーマ：「青春」 入場料：A～F各ブロック800円

24日(木)	A	14:30	講演：淀川長治 <映画が描いた青春>	15:40	特別上映「太陽がいつばい」		
25日(金)	B	13:00	市民が選んだ青春映画ベスト2「わが青春に悔なし」	15:00	「ラブレッター」		
	C	18:00	座談会 <日本映画の青春像>	19:00	「伊豆の踊り子」		
26日(土)	D	13:00	解説 13:10 特別上映「哀戀花火」	16:00	シンポジウム <青春・命がけの恋>		
	E	18:00	「しこぶんじゃった」	20:00	シンポジウム <市民と監督のふれあいトーク>		
27日(日)	F	13:00	市民が選んだ青春映画ベスト3「青い山脈」	15:00	市民が選んだ青春映画ベスト1「瀬戸内少年野球団」		
◆親子劇場	無料	26日(土)	10:00	「ドラエモン」	27日(日)	10:00	「ルパン三世」

●ヤング・シネマ部門 会場：日本映画学校 入場料：A～F各ブロック500円、一日券1,000円

25日(金)	A	13:00	「旅の浪人」「オオサカ・ストーリー」	B	16:00	「日本製少年」 座談会
26日(土)	無料	11:00	「清十郎奇譚」	C	12:30	「きらきらひかる」「裸足のピクニック」
	D	17:00	「女優霊」 座談会			
27日(日)	無料	11:00	「友だちのいる孤独」	E	12:30	「水の中の八月」「東京フィスト」
	F	17:00	「ベルリン」			シンポジウム

◆映画体験コーナー、映画情報フリーマーケット 無料 25、26、27日

●コンピュータアート マルティメディア作品展 新百合21ビル1 無料 26、27日 9:30～16:00

①映像作品上映 ②マルティメディア作品体験展示 ③市民のためのインターネット探検

●「地方の映像祭」講演と受賞作品の上映 新百合21ビル1F 無料 24日(木) 13:00～

■問い合わせ・チケット電話予約：イベント実行委員会 ☎044-966-6200 ■チケット販売：日本映画学校、当事業団

◆主催：川崎市、芸術のまちづくりイベント実行委員会◆共催：川崎市教委、当事業団、日本映画学校ほか

## かわさき市民アカデミー・秋季公開講座 **聴講生を募集**

### ◆講座①…現代人間模様～今日の日本における人間の苦悩(午後1時半開講 会場:中小企業・婦人会館)

回	月/日(曜)	テ　　マ	講　　師(敬称略)
1	10/30(水)	現代人間模様総論	共同通信社社会部 古賀 尚文
2	11/6(水)	オウム真理教事件にみる人間模様	共同通信社社会部 黄田 秀夫
3	11/13(水)		
4	11/20(水)		
5	11/27(水)	エイズ薬害訴訟、 教育現場にみる人間模様	共同通信社社会部 西山 明
6	12/4(水)		
7	12/11(水)		

### ◆講座②…モーツァルトとベートーヴェンの大研究(午後1時半開講 会場:てくのかわさき)

回	月/日(曜)	テ　　マ	講　　師(敬称略)
1	10/31(木)	映画『アマデウス』の虚実	国立音楽大学学園長 (モーツァルト中央研究所所員)  海老澤 敏
2	11/7(木)	モーツァルト百面相	
3	11/14(木)	モーツァルトの作品の宇宙	
4	11/21(木)	ベートーヴェンとその時代	評論家/ノンフィクション作家  青木 やよひ
5	11/28(木)	ベートーヴェンと女性	
6	12/5(木)	「第九交響曲」の<歓喜>にいたる道	

### ◆講座③…旅人たちの航跡～海の向こうから見た祖国(午後1時半開講 会場:中小企業・婦人会館)

回	月/日(曜)	とりあげる人物
1	10/25(金)	野口 英世
2	11/1(金)	朝河 貫一
3	11/8(金)	中江 丑吉

回	月/日(曜)	とりあげる人物	講師は 各回とも 作家 井出 孫六
4	11/15(金)	駒屋 銀二	
5	11/22(金)	土方 久功	
6	11/29(金)	浅川 巧	

□聴講料 各講座とも3,000円(全回とおして)

□申し込み 10月7日(月)午前9時から ☎422-3932で受け付け(先着順)

かわさき市民アカデミー事務局

## いまを話す

ゲスト

漫画ハウスを開いた元中学教師

山口 栄彦 さん

Vol. 48



## 中教審も認めめた？「学校は死に体」 教師は子の心つかむ勉強を

深刻化するいじめ、不登校、学校嫌い。今夏、第15期中教審（文相の諮問機関）は「生きる力の育成」を強調、今の学校が死に体であることを事実上認めたようだ。学校蘇生の第一歩は何かを、向丘中に在職中の十数年前、校内持ち込み禁止の漫画が「読める部屋」をつくり、問題を抱える生徒の心に触れた山口栄彦さん（66）に聞いた。教師は本を読み、子供たちの心をつかめ。そのために部活動を半減すべき、「子育ては、自立心の強い子にするためのはず。親は過干渉・過保護をやめよ」とラジカルな指摘が飛び出す。「漫画は親と子、教師と生徒のコミュニケーションの手段」とも。退職後、自宅にミニ漫画ハウスがある。インタビューは伊藤真弓さん。

——ご自宅につくったミニ漫画ハウス「えーひこべや」は、山口さんの名前をもじったのですね。  
山口さん そうなんです。生徒が名付け親です。漫画が四千冊あり、そのうち、千冊がマガジン、サンデー、ジャンプで、二十年前からのバックナンバーが揃っています。

——すごい。値打ち物ですね。  
山口さん 父母からいただいたんです（笑顔で）。

——あの部屋をつくったきっかけは。

山口さん 昭和五十七年ごろ、私が勤務していた向丘中で、校内暴力があり、友人から「問題生徒を排除したり、バラバラにするのではなく、まとめて面倒を見て」と助言され、空き教室を利用して子供たちとの触れ合いの場を思い付いたんです。そこに子供たちが漫画を持ってきたんです。

——学校では漫画は持ち込み禁止のはずですが……。

山口さん そうなんです。みんなカバンの中に入れていましたね。前任校の玉川中では自由でした（苦笑）。

——その空き教室で、山口さんも生徒と漫画を読んだのですか。

山口さん 私、それまでは、ほとんど漫画を読んでないです。私が「このキャラクターは何だ」と聞くと「なーんだ、知らねえのか」と、生徒が得意になって話します（笑い）。それで「あっ、これだ。漫画は、教師と生徒の共通の話題になる」と思いました。

——生徒との距離を縮めるよい手段になったのですか。

山口さん でも、アウトローの生徒が、ラジカセを持ち込みタケノコ踊りを始めるなど、単純に信

## 10数年前、空き教室を漫画部屋に

## 問題生徒 孤独と家庭崩壊

顧問が出来るほど甘くはないのです。

——他の先生からの批判は？

山口さん ありました。教育としての大義名分があればいいわけで、漫画クラブをつくりました。百人近くの生徒が集まり、予想以上の人気でした。漫画は生徒やその親がPTAのバザーで買うなど

してプレゼントしてくれました。

——親の理解と協力もあつた。

山口さん 本当にありがたかったですねえ。そのころから、生徒たちが「えーひこべや」と呼ぶようになつたんです。でも、授業をさぼって部屋に来る子もいて、どう指導するか悩みましたね。「ここから出ていけ。教室へ戻れ」では解決しませんので。

——部屋が出来た後、先生方の考えに変化はありましたか。

山口さん 職員会議で年配の先生から「持ち込み禁止の漫画をなぜ認めるのか」と批判されました。でも、教頭さんが「この問題は私に任せなさい」と言われ、「えーひこべや」が存続しました。いま考えると、教員の空気が微妙に変化したことを教頭さんが察知して、ああいう発言になつたと感謝しています(笑)。

——十数年前、教師が学校に漫画を持ち込み、異端視されても、

それを貰った意義は大きいですね。

山口さん 思い付きから、あの漫画部屋が出来たのですが、「えーひこべや」がなかったら、恐らく学校に行かなかつた」という卒業生もいます。最近、埼玉県教委がはじめや暴力対策の一つとして、校内に「たまり場」を作つたとの報道に接し、僕のやり方が間違いはなかつたと思つています。

——印象に残っていることは。



山口さん 三年生の女生徒が、

ある日「よー」と言つて入つてきたんです。名前も顔も知らない子です。「先生、彼氏できちゃつた。」

電話で知り合い、あしたデート」というんです。論じましたが、男に会いに行き数日後、「暴走族だったので逃げ帰つた」と話しにきました。僕の学生時代のことや、男はこういうものだと言つたと「私、……じゃないの」とホツリ。その

## 山口 栄彦 さん

やまぐち・えいひこ=1930年、千葉県生まれ。1カ月で大学をやめ、一年間魚運搬船に乗る。53年、進駐軍に夜勤をしながら中央大学に入学。都内の区立中講師などを経て、64年から川崎市立中英語教諭。向丘中で漫画部屋をつくる。91年退職後、自宅に地域へ開放したミニ漫画ハウスを。96年、「漫画とイラストによる戦争と平和展」を開く。現在、川崎ボランティアセンター運営委員。多摩教育文化研究所代表。72年から多摩区生田に在住。妻と二人暮らし。

子の家庭は母親が病死し、その三カ月後、父親が家に女を連れ込み、日常的に子供に暴力を振るうのです。この話を聞き「中三の女の子には耐えられないことだ」と悲しくなりました。何と励ましたらいいのでしょうか。「頑張れ」なんて言えないですよ。あの子はとても寂しい。だから、だれかを求めたのでしょう。「おれは何も言えない。寂しくなつたら、この部屋に来てよ」と言うのが精一杯でした。

——その後、彼女は……。

山口さん 高校に進学して、卒業後、遊びに来ました。

# 一流作品 絵、ストーリーとも ヤングの心、感覚にピタリ



よかった。あの部屋によって救われた感じ。退職後「えーひこべや」を自宅に造ったわけは。山口さん 卒業生の何人かと私を漫画がつかないでくれて、交流が続いているんです。これをヒントに、近所の子供たちの健全な場になり場になればと思います。

利用者は多いのですか。

山口さん 始めたころは来ましたが、最近は少ないですね。文庫活動のように働き掛けをすべきなのでしょうが……。

中高年の人の漫画へのアレルギーも少なくなりましたね。

山口さん 利那的な漫画の影響

からか、まだ日陰者扱いの感じも。手塚治虫など一流の漫画家の作品は素晴らしいのですが、食わず嫌いな感じですね。

山口さん 「ブラック・ジャック」は、何度読んでも感激しすぎいと感じます。

山口さん 私が最初に読んだのは「アドロフに告ぐ」です。子供たちのリクエストに応え、手塚漫画の愛蔵版を買ったんですが、一気に読んでしまいました。

最近のお勧め漫画は。

山口さん 私、「毎日中学生新聞」のファンで、毎週水曜の漫画紹介欄にも紹介された「おたんこナーズ」(佐々木倫子著)です。

あー、私も読んでます。

山口さん 病院の中でしごかれても頑張って生きていく看護婦さんの姿が、いき生きと描かれ説得力があります。私、日本子どもの本研究会漫画研究部会にも出ていますが、ストーリーや図柄について批判ができて、面白いですよ。

そのことがミニコミ紙「心のとまり木だより」に紹介されていますね。これ、手書きですね。

山口さん ええ。手書きには温もりがあります。創刊は十三年前。

隔月発行で四百部を教育委員会や学校、知人に送っています。実は、私は新聞記者になりました。新聞の力は大きい。えーひこべや」のことを新聞が報じると反響があり、責任を感じました。

最近、「公園だより」「やんのうだより」を創刊しましたが。

山口さん 退職後、健康維持のため週二回、稲田公園の掃除をしています。時給は六百二十円で健康七〇%、お金三〇%のつもりで働いています。「公園だより」は、六、七十歳代への励みだしだより、と思っっています。「やんのうだより」は故郷・千葉の漁師の歴史や生き方をまとめるつもりで。

ところで、七月に中央教育審議会が「二一世紀を展望したわが国の教育のあり方」を文部大臣に答申しました。これまでの学校中心の「一斉」「均質」を転換して「生きる力」「ゆとり」「学校のスリム化」が理念として打ち出されていますが。

山口さん 理念としては結構なことですが。しかし、あそこに述べられている問題は、市民がかなり前から指摘していたことです。

具体的にどうするか。

# 教師にもゆとりを 部活を半減

## 少子化で 過保護増 目は自らの人生設計へ

山口さん ええ。「学校が死んだ」との指摘すらある状況を変えるには、教師が勉強することです。知り合いの平間（中原区）の本屋のおやじさんが「小説を読む教師が少なくなった」と嘆いています。



——教師が子供たちを教育する上で、読書がなぜ不可欠と……。

山口さん 教師に限らず、個人の実験の体験には限界があります。教師の多くは、大学を出ると社会的経験をあまりしないで、否応なく子供たちを指導する立場になります。教育理論に優れていても、生きた人間（児童・生徒）にじかに接した時、的確に対応できるか

は別です。校長、教頭など教育の先輩も学校という狭い社会で長年過ごしており、社会の激しい変化や子供たちを取り巻く環境の変化、多様な考え方などを見極めての指導ができる人は少ないのでは。

——そうでしょうかね。

山口さん 優れた小説には、人間のたくましさや弱さ、心がどのように傷つくか、どん底から立ち直るかなどについての豊富な示唆が記されています。受験勉強や偏差値のための読書でなく、自分と児童・生徒の生き方を追求するためにも、小説を読んでほしい。

——人生経験も少なく本も読まないから、他者の立場で考えることが難しいと……。

山口さん そうだと思います。それに教育現場というのは新しいことをやらない傾向があり、若い教師が良い提案をしても反応が鈍く、現状を打破する気概に欠けている面が少なくないのです。現状

のままの指導で飯が食えるんです。文部省の政策、悪い点はたくさんあります。ですが、個々の教師の抵抗、努力で子供を守れることも事実で「教育は人なり」です。

——真面目な教師ほど「自分の時間がない。勉強する時間がない」と悩んでいると聞きますが。

山口さん 教師の勉強の妨げになっているのが部活動です。部活の時間を半分に減らさないと……。

山口さん 「いじめは悪だ。いけない」という指導の徹底が重要なのは言うまでもありません。しかし、いじめを克服することは大変困難です。川崎市には、在日韓国・朝鮮人がたくさん住んでいます。この方々の歩んだ歴史の中には、日本人や日本の軍隊によって屈辱的な迫害を受け、いじめられた犠牲と被害の事実があります。その時、在日韓国・朝鮮人がどん



伊藤真弓さん

**伊藤 真弓 さん**  
 いう・まゆみ＝米国 Grand View College 卒。声優・北川智繪主宰「話芸写」の「語り」と上演音楽を担当。英語教室を主宰し、声の仕事や難民支援のチャリティー語りも。川崎に住んで28年。自宅は中原区新丸子。

な気持ちで過ごしていたか。そのことを学ぶことが、長い目でみれば、いじめ克服につながると考えます。このことを市立高校では必須科目に、中学では研究発表などで月に一度、授業に取り入れたら、いじめは減ると考えています。

——実現可能な提案ですね。父母への注文はありませんか。

山口さん 少子化で、子供に目が向き過ぎていますね。過保護、過干渉にならないで、親は孤独に耐え、自分の生涯学習をしてほしい。退職後に何をするか、七十歳になつたら「の人生設計があれば、いい意味で子供を突き放せます。子育てとは、自立心の強い子づくりにはずです。

題字は高橋清・川崎市長  
 構成／野々川千恵子  
 文責／田中 園

はりきってます グループ紹介

仲間と楽しむ 学ぶ 活動する 生かす生かす。



お偉いさんゼロで 刺激的楽しさを

的な生きる力、必要に応じて行動できる人間をお互いに創り上げ、大きな常識人を育てる(案内文から)ことである。

この日のテーマは「ジャーナリズムとは何か」。会場の当事業団研修室は、さすが足りないほどの盛況で和やかな雰囲気。最初に同会代表の藤田親昌さん(92)「円写真」が「住民運動は私利私欲では駄目です。新しい生きた政治とは、ムードではなく、庶民の幸せだけを考える政治です。僕はおじいちゃんだが、みんなが平等にモノを言い合い、本当の市民をつくりましょう」と参加者を励ました。

講師は元朝日新聞解説委員、柴田鉄治さん。新聞報道を例に、ジャーナリズムの役割や報道と人権について、やさしく説明。とくに「薬書エイズ」では、自からの体験も交え問題を提起した。意見交換に移ると、数人の手が挙がり、「ジャーナリズム精神が薄まった原因は」「住民参加とは何なのか」「審議会の市民代表はだれが決めるの」などの疑問や意見が続出。その後の懇親会も盛り上がり、参加者は心の絆を深め合っていた。

「趣味グループは長続きしてい

るが、政治離れて生活直結型の学習グループは先細り」との評があるが、寺子屋の熱気はどこから?。発足のきっかけは、一九九〇年、市民が開いた「アパルトヘイト否 国際美術展」。そのエネルギーを今後、市民が直面している平和や環境などの問題につなげよう」と呼び掛けスタート。これまで、取り組んできたテーマは地方自治、人権、国際問題など。

事務局の丸山マサ子さん(55)は「自立した労働組合員と市民が楽しく学び合い、活動しています。お金のやりくりと会場確保に苦労しています」と笑顔で話す。

同・原田本子さん(63)は「いろいろな考え方の人が、気楽に集まれるのが良いところ。各自の意思で、さまざまな市民運動に参加しています」と語る。

初参加の浜崎好治さん(35)は「みなさんが活発に話し、刺激的でした」とやや興奮気味にいう。

今回のテーマは「情報公開」で、小誌の学習・文化情報欄参照。連絡先は☎(955) 1448 丸山カ(911) 9303原田。

大きな常識人育てる

川崎市民の寺子屋

一人ひとりが寺子(生徒)になつて、先人の話を聞き、自らも発言する江戸時代の庶民の子の教育機関、寺子屋を手本にした自由なサロン「川崎市民の寺子屋」。規約も会費もなく、来るも去るも自由。テーマも運営も参加者で決める。現代寺子屋が目指すのは「基本

文 / 小誌・野々川千恵子  
カメラ / 小誌・山本 綾子



## はりきってます グループ紹介

## ゆめたくりつ太極拳に励む

## 木月拳美会 (中原区)

ゆつくりと体を動かす太極拳で、健康を増進させているのは、「木月拳美会」。浅川千江子代表(71)ら十人。心身とも元気で胸を張り、はつらつと老いたい」と心地よい汗を流す。

毎週火曜の午前、中原区の市国際交流センターで、準備体操の後太極拳の基礎である基本功という足の運びを練習する。空気を体のすみずみまで行きわたらせるような腹式呼吸が大事。背筋をまつすぐに伸ばす。中腰になり足先を斜め前に向けて立つ。腕を胸の前で動かしながら、右足を前に伸ばし足をかかとから床に付け、体のバランスを保ちながら一歩一歩進む。さらに、中国音楽に合わせて「簡化24式太極拳」をする。全員、視線をやや下にして立ち、音楽に合わせて足を肩幅まで開く。中腰で指を微妙に動かし、ひざを曲げたり腕を胸の前に寄せたりすると、体のエネルギーを感じ、流れるよ

うな華麗な動きになる。

会員の額や鼻から汗がにじみ、会場に散乱な霧田気さえ漂う。心が一つになって、手足の動きがそ

呼吸・動作・気で  
老いてもはつらつ

ろつ。相手をけ飛ばし、額を小突くような動作もあるが、優雅でゆつたりとした動きが印象的だ。入会して日が浅い会員に、ベテランの会員が「支える手は、前にした方がいいわよ」と、体に触れながら熱心にアドバイス。

病気がちだった浅川代表が太極拳に出会ったのは八年前。その後、精進を重ねて健康を回復し、いま

では、日本武術太極拳連盟公認の級指導員になった。

同会発足は一年前の十一月。川崎区で活動している無極天生健身会の会員から「中・北部の人が通いやすいよう中原区にも」との声があつたのがきっかけ。

二年後に開催される「かながわ・ゆめ国体」のデモンストレーションの中に、太極拳が組み込まれるが、同会は「一人でも多くの会員が参加して、その素晴らしさをみなさんにアピールしたい」と練習に励んでいる。

荻春子さん(79)は「仲間に会うだけで元気になります。体を動かすと、とてもさわやかな気分になります」とにっこり。

鎌田あい子さん(65)は「太極拳をやっていると気持ちに張り合いがで、例会前日はビデオで予習をします」と張り切る。

浅川代表は「チームワークがよく楽しんでいきます。太極拳は生涯スポーツ。老若男女を問わず大歓迎です」と参加を呼び掛けている。同代表宅は、川崎区池上町八の一〇。☎(2666)2885。

文／小誌・山本 綾子  
カメラ／小誌・野々川千恵子

仲間と楽しむ

学ぶ

活動する

生き生きと。

講座・講演

「大妻女子大学公開講座  
「日本、文化の意匠」ココロ  
とカタチの風景」◆同大学  
多摩校大妻文化センター」  
10月31日～11月28日の毎週  
木曜10時から、全5回。小  
説や絵本、仏教画、生活か  
ら日本の文化現象を考える。  
講師は小池健男・同大学教  
授ら。受講料3千円。申し  
込みは10月21日までに往復  
はがきに①短期大学部公開  
講座②氏名(ふりがな)、性  
別、年齢③住所、電話番号  
④勤務先と、返信用にも住  
所、氏名を記し〒206多  
摩市唐木2の7の1、同  
大学事務部公開講座係。☎  
0423(72)9988。  
唐木田駅下車。

1231の同所。  
「知る権利」情報公開」  
◆多摩市民館」10月6日(日)  
13時半から。講師は奥津茂  
樹・情報公開法を定める市  
民運動・事務局長。参加費  
千円。問い合わせは☎(9  
55)1448の丸山さん  
か☎(911)9303の  
原田さん。川崎市民の寺子  
屋主催。  
「着付け入門教室◆サン  
ライフ川崎」10月16日～12  
月4日の毎週水曜9時半か  
ら、全8回。講師は尾崎弘  
子さんの文化・歴史風俗研  
究会会長。受講料2060  
円。申し込みは☎(344)  
1777の同所。

41の1、同大学教務課公  
開講座担当☎(587)  
3502。  
「2時間で作れるおしゃ  
れなパンツ◆登戸ドレスメ  
ーカー学院」10月28日(月)13  
時半から。受講料千円。布  
ミシン糸持参。申し込みは  
午前中に☎(911)22  
21の同院。向ヶ丘遊園駅  
下車。  
①茶道入門(煎茶)②  
歌声の広場③自彊術入門④  
ヨーガ入門⑤スケッチ入門  
◆県立高津青少年会館」①  
は10月1～15日の毎週火曜  
18時半から、全3回。立ち  
方から丸盆扱いまで②は10  
月3日～12月26日の毎週木  
曜(10日を除く)19時から、  
全12回③は10月9～30日の  
毎週水曜19時から、全4回  
④は10月17～31日の毎週木  
曜18時半から、全3回⑤は  
10月23日～11月20日の毎週  
水曜19時から全5回。対象  
青年。無料。申し込みは☎  
(844)2101の同館。  
「シニアいきいき教室◆

市中小企業・婦人会館」10  
月20日(日)10時から。「シニ  
アの賢い暮らしの経済」に  
ついて鈴木洋・シニアライ  
フアドバイザーが講演▽余  
暇診断。資料代400円。昼  
食持参、600円の弁当あり。  
申し込みは、10月10日まで  
に☎(322)2350の  
関東SLA協会神奈川県部  
会、宇野さん。  
「たちはなふるさとセミ  
ナー」郷土たちばなの歴史  
・文化を知る◆「プラザ橋」  
11月9日(土)、歴史・エビソ  
ードを長島保・川崎市史編  
纂委員が▽16日(土)、史跡と  
文化を三輪修三・日本民家  
園学芸員が。いずれも13時  
半から。無料。申し込みは  
10月19日10時から☎(78  
8)1531の同所。  
①生命科学と人間と健  
康②花の文化史③毛筆書写  
の基本◆玉川大学」①は10  
月12、26日、11月9日の土  
曜13時からカン、心筋梗塞  
の治療や健康・遺伝子・地  
球を考える。講師は三石績

・同大教授ほか。受講料は  
テキスト代込み1回3千円  
②は11月9日～12月7日の  
毎週土曜(3回目は金曜)  
14時から、全5回。花が生  
活文化にどんな意義を持つ  
かを考える。講師は田中宏  
・同大教授ら。受講料は資  
料代込み1万5千円③は10  
月8日～12月10日の毎週火  
曜17時半から、全10回。楷  
書、行書、仮名、のし袋の  
書き方を学ぶ。講師は日比  
野仁佐雄・大日書芸審査員。  
受講料3万円。筆、墨持参。  
申し込みは☎0427(39)  
8895の同大継続学習セ  
ンター。玉川学園前駅下車。  
「講習会①小菊盆栽の作  
り方②果物(柿)の鉢作り  
◆市緑化センター」①は11  
月13日(水)13時半から。無料  
②は20日(水)13時半から。教  
材費2千500円。申し込み  
は①11月1日②同7日まで  
に往復はがきに講習会名、  
住所、氏名、電話番号を記  
し〒214多摩区宿河原6  
の14の1、同所。☎(91

学習・文化情報

探していた講座がある

学習・文化情報

参加したい催しがある

「ゆりがおか児童合唱団を育てる会総会◆当事業団



①「紙すき「和紙」作り  
②チビッコわら細工教室◆  
日本民家園」①は11月10日、  
24日の毎週日曜10時から。  
コウゾで、はがきやシオリ  
を。教材費込み2千円②10  
月26日(土)10時から。対象は  
小中高生。無料。申し込み  
①10月27日までに往復はが  
きに住所、氏名、電話番号  
を記し〒214多摩区枳形  
7-1-1、同園②☎(9  
22)2181の同園。  
「ボランティア入門講座  
◆川崎授産学園」10月29日  
12月3日の毎週火曜10時  
から、全6回。施設で作業  
体験▽点字、手話の学習

研修室」10月10日(祝)13時半  
から。会員以外の参加歓迎。  
26年間、輝かしい足跡を残  
す同合唱団のサポーターの  
活動実績や地域文化団体が

写真視力障害者疑似体験  
無料。申し込みは10月25日  
までに☎(954)501  
の同園。新百合ヶ丘駅か  
らバス。  
「桜美林大学オープン・  
カレッジ◆同大学」10月17  
日12月5日の毎週木曜10  
時半と12時50分から、全16  
回。テーマは国際社会・地  
域社会・現代的課題・思想  
など。講師は末吉雄二・慶  
応大教授、松尾羊一・放送  
批評懇談会専務理事ら。聴  
講料全回通し5千円、1回  
千円。申し込みははがきに  
下番号、住所、氏名(ふり  
がな)、☎番号を記し〒19  
4-02町田市常盤町37  
58、同大生涯学習センタ  
1。☎0427(97)26  
61内線276。淵野辺駅  
からバス。  
「調布学園女子短期大学  
公開講座◆同図書館」11  
月9、16、30日の土曜13時

半から、全3回。「再考、く  
らしと科学」をテーマに茶  
喫煙、公害、環境を考える。  
講師は春名徹・同大教授ら。  
無料。申し込みは10月21  
5日に☎(966)344  
3の同大公開講座係。生田  
駅か柿生駅からバス。  
「平和人権セミナー」民  
主主義は今……?!◆麻生市  
民館」10月5日(土)10時から  
上原幸雄・川崎沖縄県人会  
事務局長が「沖縄に見る地  
方自治」▽26日(土)10時から  
杉原泰雄・東海大教授が「民  
主主義は日本で受け入れ  
られたか」。無料。申し込み  
は前日までに☎(951)  
1300の同館。

抱えている問題を話し合う。  
指揮者で創設者の山田榮子  
さん、会長の田中奈美子・  
フェリス女学院大学講師ら  
を囲んでの懇談も。無料。

「麻生地域セミナー①パ  
リアーのないまちづくり②  
鶴見川流域の文化を訪ねる  
◆新百合ヶ丘駅改札口集合」  
①は10月20日(日)乗り物、上  
下移動のまちは、高齢者や  
障害者に?を調査②は10月

27日(日)真福寺、剣神社など  
鎌倉時代の建物を訪ねる。  
9時半集合。保険料など3  
百円。交通費自己負担。小  
雨決行。申し込みは前日ま  
でに☎(951)1300  
の麻生市民館。  
「①川崎労働学校②P  
O 広告講座③簿記3級検定  
準備講座◆市労働会館」①  
は11月7日(土)12月13日(金)  
のうちの12回、18時半から  
受講料2千円。②は10月15  
日11月26日の毎週火・金  
曜18時15分から(1、12日  
を除く)全11回。見やすく  
読みやすい文字、レイアウト  
を学ぶ。講師は笠原正久  
さん。受講料1万円、教材  
費は別。③は10月15日(火)  
来年1月30日(木)のうちの25  
回、18時15分から。講師は  
鈴木辰之さん他。受講料2  
万2千円。申し込みは①10  
月21日から☎(222)44  
16の同館②同6日10時③

問い合わせは☎(952)  
5000の当事業団編集室、  
田中か山本。  
「①映画劇場「マディソ  
ン郡の橋②秋のダンスパ

同11時に受講料を添え同館  
「常設講座◆市中小企業  
・婦人会館」10月から始め  
る講座の受講生募集。源氏  
物語▽奇術▽池坊▽草月流  
▽煎茶▽抹茶▽書道▽ペン  
習字▽水墨画▽花のちぎり  
絵▽レザークラフト▽藤工  
芸▽七宝焼▽木目込人形▽  
木彫▽絵手紙▽和裁▽洋裁  
▽手編▽パッチワークキル  
ト▽組紐▽ヨーロツパ刺し  
ゅう▽樹脂粘土の花▽フラ  
ワーデザイン▽アートフラ  
ワー▽時代衣裳着付け▽尺  
八民謡▽詩吟▽太極拳▽ヨ  
ガ▽ジャズダンス▽ジャズ  
・リズム体操▽エアロビッ  
ク・社交ダンス▽幼児・児  
童体操▽こどもモダンバレ  
エ▽同クラシックバレエで  
受講料は月額各3、6千円  
入会金3千円。保育あり。  
申し込みは☎(422)2  
525の同館。

ティー◆川崎市民プラザ」  
①は10月12日(土)14時と18時  
から上映。無料②は10月19  
日(土)18時半から。2千円。3  
申し込みは☎(888)3

学習・文化情報

たのしい催しがある

131の同所。

〔1〕わくわく実験教室  
 発明王エジソン②サイエンスショー◆東芝科学館①は10月12日(出)10時と13時から。エジソンが発明した電球やレコードの複製品を使い解説―写真。小学生以上②は10月26日(出)10時半から「君も超能力者」13時から「あかりの実験」15時から「おもしろ電池」。親子。無料。申し込みは①のみ☎(549)2200の同館。川崎駅からバス。



〔園内民家の解説ツアー①トータルコース②ポイントコース◆日本民家園①は10月11、18日の金曜。全民家の見どころを大野敏・

同園技術職員が②は10月16、23日の水曜。いくつかの民家の特徴を三輪修三・同園学芸員が。13時半集合。入園料のみ。雨天決行。☎(922)2181の同園。

〔①天体観望会②天体写真撮影会◆市青少年科学館①は10月5、19日の土曜17時半から。木星、星団、月(月齢7日)を観望。雨、曇りはプラネタリウム②は11月24日(日)17時半から、土星撮影。小学5年以上。一眼レフカメラボディ、フィルム、レンズ持参。雨中止。無料。小学生以下は要保護者。申し込みは②のみ10月27日から☎(922)4731の同館。

〔ミニ観察会◆生田緑地①10月5日(出)13時30分から植物▽6日(日)10時からクモ▽20日(日)10時から昆虫、13時半から地質。無料。筆記具、図鑑、ルーペ、双眼鏡持参。参加自由、10分前に市青少年科学館集合。5日と20日の午後は雨天決行。問い合わせは☎(922)4731の同館。

〔市民の目で見た阪神・

淡路大震災写真展の写真募集◆「ブラザ橋」同震災の街の状況やボランティア活動など市民が写した写真募集。作品サイズは問わない。応募要領は☎(788)1531の同プラザ。来年1月写真展を開く。

〔菊の品種展◆市緑化センター①10月23日(水)11月24日(日)9時半から。大菊、江戸、嵯峨の地方菊などを展示。☎(911)2177の同所。

〔「かわさき星野富弘花の詩画展」ボランティア募集①来年3月25日(火)4月13日(日)アートガーデンかわさきで同詩画展を開く際のボランティアの活動内容は①会場での受付、会場整理②開催までの運営、チラシ配布など広報活動。ボランティアへの説明会は11月26日(火)29日(金)13時半から、大和証券川崎支店ホール(JR川崎駅東口下車)・星野富弘さん「写真」の著作「愛深き淵より」風の旅」の企画編集者・山崎園子の話も。申し込みは10月15日

11月10日に往復はがきに



住所、氏名、年齢、電話番号、希望するボランティア活動の内容、説明会への参加希望日を記して〒210川崎区駅前本町12の1リバー3F、市文化財団内「同詩画展を開く会」事務局。☎(222)8821の市文化財団。

〔川崎みなと祭り◆川崎マリエンとその周辺①10月19日(出)20日(日)10時から。ミニSL▽東扇島施設見学会▽ポトルシップ展▽川崎港見学会▽ミニクルーズ。☎(287)6009の同祭り実行委事務局。

〔天体観望会◆川崎授産学園①11月16日(出)19時から。月面、土星、冬の星座を観望。無料。小学生以下は要保護者。参加自由。雨の時は天文映画など。☎(954)5011の同園。新百合ヶ丘駅からバス。

さらに使いこなすパソコン講座

受講者募集

- 日 時——11月19日(火)~21日(木) 午前10時~午後4時
- 会場——市教育文化会館学習室 (JR川崎駅から徒歩15分、バスあり)
- 対象/定員——市内在住・在勤・在学の方/15人 (定員を超えた場合は抽選)
- 受講料——12,000円。他に教材費1,500円
- 使用機種——NEC PC9801DX-U
- 申し込み——10月25日(金)~31日(木) 午前9時~午後5時に  
 ☎(233)6250の川崎市生涯学習振興事業団川崎分室(月曜休み)

学習・文化情報

ききたい音楽がある

〔指定文化財現地特別公開〕◆長念寺、妙楽寺〕10月26日(土)〜11月4日(休)10時から。長念寺で鳥合わせ図屏風(県重要文化財)阿弥陀如来立像(市重要歴史記念物)他を▽妙楽寺は五趣生死輪図(同)他を公開。11月2日(土)3日(休)13時半から、現地セミナー。鈴木直・文化学院講師、衛藤駿・慶応大教授らが解説。受講料1回千円。セミナー申し込みは10月18日までに往復はがきに、住所、氏名、年齢、電話番号、返信用に返信希望先を記し〒210川崎区宮本町6安田生命ビル、市教委文化財課☎(200)3306。

〔①子供のびのび広場②みんな仲良くお菓子作り〕デコレーションホットケーキ◆県立川崎青少年会館〕①は10月12、26日の土曜10時から、将棋▽卓球(ラケット、室内靴持参)▽遊び。対象は小中高生。無料。②は10月13日(日)13時から。対象は小中学生以上。材料費300円。エプロン、弁当持参。申し込みは☎(2

22)5282の同館。

〔市中小企業・婦人会館講座作品発表会◆同館〕10月12日(土)10時から。ジャズ体操、自彊術、奇術の演技。手作り作品の即売無料。☎(422)2525の同館。

**ステージ**

〔川崎市民合唱団定期演奏会◆幸文化センター〕10月27日(日)14時開演。蔵王(佐藤真作曲)▽富士山(多田武彦作曲)▽明治以来の外国曲の替え歌集。全席自由500円。☎(522)6229の小西さん。

〔紫村千恵子の歌と四つ星の響き◆花ホール〕10月13日(日)14時半開演。ジェラシー▽白い小鳩▽悲しみのハバナ他アルゼンチンタンゴを演奏。出演は啼鵲(バンドネオン)▽紫村昌子(ピアノ)▽吉田多摩子(ベース)▽松本佳秋(バイオリン)。全席自由前売り3千円、当日3千300円。☎(812)6090の同所。溝ノ口駅下車。

〔川崎市民交響楽団定期演奏会◆市教育文化会館〕10月19日(土)18時半開演。シューベルト「交響曲第3番変ロ長調」▽ブルックナー「交響曲第3番変ホ長調、ロマン的」。指揮は石川真也。全席自由500円。☎(522)6941の同団連絡事務所・中西さん。

〔大地の詩〕賈鵬芳&天華アンサンブル◆川崎能楽堂〕11月15日(金)19時開演▽16日(土)15時開演。三重奏「雨打芭蕉」(広東音楽)▽揚琴独奏「天山の祝日」(新疆ウイグル族音楽)▽合奏「日本の歌メドレー」他。出演は賈鵬芳(二胡)▽写真、姜小青(古箏)成燕娟(揚琴)ほか若手演奏家。全席自由3千円。前売りは10月16日(水)から☎(222)8211の市文化財団。

〔①北川智繪「言の葉がたり」〕文化庁芸術祭参加



②語りLIVE◆ミニホール新宿Fu)①は10月26日(土)19時開演▽27日(日)15時開演。演目は、ちいちゃんのかけおくり(あまんきみこ作)▽山桜(藤沢周平作)②は11月9日(土)18時開演▽10日(日)14時半開演。演目は、蜘蛛の糸(芥川龍之介作)▽ある朝突然に(森瑤子作)ほか。いずれも全席自由3千円。☎(711)8032の話芸写主催。会場は新宿駅東口下車、新宿永谷ビル階。

**スポーツ**

〔①親子体力づくり②シルバー健康体操◆市とろきアリーナ〕①は11月19日(土)の毎週金曜9時半と10時45分から、全5回。対象は4歳児と保護者。受講料千500円②は11月7日〜12月5日の毎週木曜10時から、全5回。対象は6歳以上。受講料2千円。申し込みは10月24日10時に☎(798)5000の同所へ直接。

〔①体育の日記念無料開放②パドミントン講習会◆

ル階。〕「ギッティ・ビルナーピアノリサイタル◆前田ホール」10月14日(月)18時半開演。モーツァルト「ソナタハ短調K457」▽シューマン「謝肉祭」ほか。無料。ビルナーは、ジュネーブ国際コンクール1位入賞。現・ミュンヘン国立音大教授。☎(877)3211内線285の洗足学園演奏部。溝ノ口駅下車。

幸スポーツセンター)①は10月10日(祝)9時から、大・小体育館、トレーニング室の開放▽10時から、太極拳の体験講座▽13時半から、ヨーガの体験講座。市内在住で小学生以上②は11月16日(土)10時から、初心・初級者に効果的なワンポイントレッスン▽13時半から、中級者へ実戦的な試合のフォローメーション。市内在住で在勤在学中で中学生以上。教材費300円。ラケット、室内用スポーツシューズ、スポーツウェア持参。申し込みは11月1日10時に教材

学習・文化情報

魅力的なグループがある

費を添え同センター。☎(555)3011。

①あなたも卓球名人②スポーツコーナー利用講習

会◆県立川崎青少年会館

①は10月18日～11月8日の毎週金曜19時から。16～35

歳。ラケット、室内靴持参

②は10月26日(出)18時半から

ウェイトトレーニングの基本と利用方法。16歳以上。

いずれも保険料千三百円。申し込みは☎(222)5282の同館。

ギャラリー

「会館とどろき」10月13日(日)まで、しゅろの会彫刻

展▽15日(火)～20日(日)退職教職員作品展I。写真▽22日

(火)～27日(日)同作品展II。工芸、編物▽29日(火)～11月3

日(祝)同作品展III。短歌、俳句、生け花。☎(733)3333。

「市民ミュージアム」10月5日(出)～11月10日(日)弘

法大師信仰展。弘法大師信仰の形成・発展・諸相や、

川崎大師平間寺の沿革について展示構成。金沢貞顕書

状(神奈川県立金沢文庫所蔵)日輪大師像(川崎大師平間寺所蔵)など貴重な資料120点。10月13、27日の日曜と11月4日(休)14時から、同所学芸員がフロアレクチュアー。10月26日～11月9日の毎週土曜13時半から古江亮仁・元大正大教授らによる「弘法大師信仰展公開講座(全3回)」。各先着

45人。申し込みは10月8日9時半から電話で受け付け。一般700円、小・大学生300円。▽11月17日(日)まで、

劇場への招待ポスターの中のドラマ展。ポスター史

初期の単色刷りから、今世紀初めの大スター・ミスタ

ンゲットの巨大なポスター55点を展示。一般300円、小・大学生100円。☎(754)4500。

「スナック喫茶琴」10月26日(出)まで、福士岩夫「カ

ツパ天国」▽福岡信吉「中国の旅。いずれも写真展。☎(544)0507。鹿島田駅下車。

「アートガーデンかわさき他」10月31日(休)～11月9日(出)かわさき市美術館。日

本画、洋画(油絵、水彩画、版画)は同所▽彫刻、立体造形、工芸、写真、書道は市教育文化会館で展示。問い合わせは☎(222)821の市文化財団。

「中村正義の美術館」10月5日(出)～11月4日(休)正義と星野真吾展。因習的画壇

の対立者として行動を共にした旧知である2人の作品展。一般500円、学生300円、小中学生200円。☎(953)4936。読売

ランド前駅からバス。「画廊ランブ屋」10月12日(出)まで、モノクロームの

世界。版画、壁画、油絵60点▽14日(月)～23日(休)ランブ

屋コレクション展▽26日(出)～11月3日(祝)田村あや展

「野の花を描く」。ステージ・アッパの表紙絵を飾った

田村さんが、イタリアの野の花を描く。☎(945)4416。稲田堤駅下車。

「ギャラリー華沙里」10月8日(火)まで、霽月展。浜

西勝則、筆塚稔尚、松坂芳介の銅版、木版、シルクス

クリン▽10日(祝)～22日(火)玉田健二個展。油彩▽24日

(休)11月5日(火)王軍個展。油彩と水彩。☎(954)2333。新百合ヶ丘駅下車。

会員募集

●英会話サークル「ジオ」

〈多摩区南生田2の2の2、永島幸子代表〉海外旅行で

役にたつ英会話を身に付け

ませんか。アメリカ人講師

の指導で和気あいあいと学

んでいます。月3～4回、火曜日の18時半～20時半、

麻生市民館で。入会金なし。月会費6千円。連絡は☎(911)2298の土井

20時以降は☎(953)0766の同代表宅。

●川崎市市民ミュージアム友の会(中原区等々力1の2同ミュージアム内、関

口克之代表)市民ミュージアムの企画展・常設展の鑑

賞会や他の美術館・博物館を見て、歩いて、学び、楽

しむ会です。さらに学習したい方には学習部会もあり

ます。入会金500円。年会費・一般会員3千500円。学割あり。問い合わせは土

曜の14～16時に☎(754)4500の同会事務局または☎(888)9304の藤沢まで。

●フラワードesignサークル「ヨーロッパ花の会」

〈川崎区田町2の11の10、松岡信子代表〉四季折々の

生花を素材にした「花あし

らい」を初心者の方でも楽

しみながら学べます。第1、3土曜9時半～11時半、市

教育文化会館で。月会費2千500円(材料費別)。連絡

は☎(322)5677の同代表宅。

★お願い

◆いきいきとグループ活動をされている市民の皆様へ「もう少し仲間を増や

したい」と思っている方は、「会員募集」欄のご利用を

はがきかFAXで、グループ名▽代表者名と住所▽連絡先の電話番号▽活動日時

か曜日、活動場所▽活動目的と活動内容▽会費(年・月)を記し、当事業団ステ

ーシ・アッパ編集チームへ(住所、FAXは裏表紙に

あります)。

ミニニュース

歌い踊る楽しい舞台

ゆりがおか児童合唱団  
定期演奏会に7百人も

「ゆりがおか児童合唱団」

の定期演奏会(山田榮子指揮)が8月29日夜、麻生文化センターホールであった。ワイクデーにもかかわらず、家族連れの市民ら7百人を超える聴衆が子供たちの透き通るハーモニーに酔いしれた。

第1部は、今春、ヨーロッパへ演奏旅行をした成果

をハンガリーの大作作曲家、コダーイ、バルトークの曲に託し、ハンガリー語での熱唱。6つの愉快なカノン、は小澤まゆこ前団長(高校3年)が指揮。

第2部は「祈りの歌」がテーマ。14世紀?現代の作曲家による「アヴェマリア」を3曲合唱。ツイーグラー作曲の「アヴェマリア」は、阪神大震災の犠牲者を悼んでの作品で、美しい旋律。心が洗われたのが、客席は静寂に包まれた。毎年「ステージと観客が

一体となつて楽しめる」と評判の石井かほる演出・振り付けの第3部は、「マザーグースの歌」(青島広志曲、谷川俊太郎訳)。Tシャツにシヨートパンツ姿の子

供たちが、中腰になり前の人々の腰につかまって、人間列車のような長い列をつくり、舞台狭しと歌い踊る。「コールおうさま」で高学年の団員で組んだ騎馬に低学年の子がまたがり、腕を組んで偉そうに首を縦に振ると、会場のあちこちから「可愛い(Y)」。

97ニューイヤーコンサート

出演者12人決まる

来年1月19日

市教育文化会館大ホール

「第8回かわさき新人音楽会オーディション」(市教委、当事業団主催)が、7月13・14日の2日間、川崎市教育文化会館大ホールで開催され、64人の応募者が日ごろの練習の成果を競い合った。

審査の結果、来年1月19日(日)に市教育文化会館大ホールで開かれる「かわさきニューイヤーコンサート」に出演する合格者は、次の12人に決まった(敬称略)。

<ピアノ部門>

小松紀子▽平尾暖子▽平山友紀子▽増村浩代▽渡邊佐和子

<管楽器部門>

川田恵理子・フルート▽横小路瑞葉・フルート

<弦楽器部門>

佐々木弘恵・ヴァイオリン▽松浦健太郎・チェロ

<声楽部門>

辻端幹彦▽西村三治代▽由比昌子

同オーディションは、才能ある若い音楽家を発掘し、音楽会出演の機会を提供、地域の音楽文化を高めることを目的としている。

☎ 422-3932の当事業団小杉分室文化イベント事務局

10月19日土前売り開始  
全席自由 1000円

編集後記

九月号「いまを話す」も好評で、多くの方から感想が寄せられた

▼国際貢献のあり方を学ん

だ▼清家さんが、中国帰国者やアジアの留学生のお世話を長年にわたり、地道にしているのに驚いた▼深く印象に残った言葉は、しめくくりの「留学生支援について」将来の平和というロマンに自分で納得してしま

す▼で、ボランティア活動をしている私を勇気づけたなど▼今号の「いまを話す」のゲスト、山口栄彦さんの行動と意見は、超少数派であろう▼現職教師からの反発も考えられ、編集チーム内でも「えーひこべや」で救われた生徒がいた半面、部活で救われた子供もたくさんいる」と▼この意見は正論だが、だからといって山口さんは異端者として切り捨てていいかは別

だ▼人間はこれまで、家庭、地域、学校、会社など、さまざまところで生活して

きたし、これからも過ごす▼いま、問われているのは、中央教育審議会の答申が指摘しているように、子供たちの生活の比重が、学校中心の「一斉」「均質」に傾き過ぎ「家庭や地域社会の教育力は低下の傾向にある」

(中教審)ことだ▼山口さんの「部活半減論」が、本当に学校批判なのかも疑問▼家庭や地域社会の教育力の低下を学校が今日まで、歯を食いしばってカバーしてきた結果、教師が「ゆとり」をなくした現実直視を訴えている気も▼そうであるならば家庭、地域への厳しいメッセージだ▼私たちはコミュニケーション共同

体という言葉をよく使う▼共同体とは、血縁・地縁的あるいは感情的つながりを基盤とする人間の共同生活様式。特定の目的を達成するために結成される組織とは区別される、と広辞苑▼学校・会社はコミュニケーションなのか▼私たちは、学校に対し思い違いをしていないだろうか(田)。

クラシック界のプリンス **錦織 健** (テノール)

バーメルト指揮による ロンドン・モーツァルト管弦楽団

10月30日(水) 午後6時30分開演 川崎市教育文化会館大ホール

□曲 目 セレナーテ第13番 ト長調「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」K525  
 ディヴェルティメント 二長調 K136  
 歌劇「ドン・ジョヴァンニ」より「彼女の幸福こそ私の願い」  
 歌劇「魔笛」より「何と美しい絵姿」  
 交響曲第40番 ト短調K550

(曲目は変更になる場合があります)

□入 場 料 全席指定 S席 4,500円 A席 4,000円  
 □チケッ ト 川崎市生涯学習振興事業団・同事業団川崎分室  
 販 売 市教育文化会館・各市民館・川崎音協・北野書店  
 チケットぴあ・チケットセゾン

問い合わせ (財)川崎市生涯学習振興事業団小杉分室  
 文化イベント事務局 ☎ (422) 3932

主 催 (財)川崎市生涯学習振興事業団/川崎市/川崎市教育委員会

好評 前売中

●発行

(財)川崎市生涯学習振興事業団  
 電話 044(952)5000代

〒215 川崎市麻生区万福寺一の二の二、新百合21ビル  
 FAX 044(952)1350 編集人・田中 園

ふれ愛バンク  
**R** ろうきん

幸せのコツ。



ためる  
 かりる  
 ろうきん

★お問い合わせ・ご相談は、お近くの神奈川県労働金庫<ろうきん>へどうぞ。

川崎支店 ☎ 044 (244) 8331

中原支店 ☎ 044 (733) 0161

川崎南支店 ☎ 044 (277) 8211

新百合丘支店 ☎ 044 (989) 1111